

地震工学会
津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
第8回研究委員会 議事録

1. 日 時：2014年2月19日（水） 10:00～12:00
2. 場 所：工学院大学（西新宿） A2610(26階 セミナー室)
3. 出席者：荒木、後藤、佐藤、島村、仲村、久田、三上(H)、村上(H)、柳原、山本
4. 資料：
 - 資料8-1 第8回研究委員会 議事次第
 - 資料8-2 第7回研究委員会 議事録（案）
 - 資料8-3 第1回幹事会 議事録（案）
 - 資料8-4 「津波避難に関する課題」（高知県中土佐町意見交換会報告）
 - 資料8-5 第8回避難の課題調査・分析部会（都市避難部会）議事録（案）
 - 資料8-6 第5回交際交流WG議事録
 - 資料8-7 JAEE 避難の研究委員会 後藤・報告用メモ
 - 資料8-8 避難の研究委員会 H25年度予算資料
 - 資料8-9 ワークショップ2014開催案内
 - 資料8-10 ワークショップ2014 参加申込者
 - 資料8-11 論文特集号計画
5. 議事内容
 - 5.1 議事録確認（柳原委員）
 - ・ 第7回研究委員会の議事録の確認を行った。修正意見はなく承認された。
 - ・ 地震工学シンポジウム0Sには、「津波避難」と「都市避難」2分野で申請しているとの補足説明があった。
 - 5.2 研究委員会の延長申請、震災対策展、ワークショップ2014について
 - ・ 資料8-7に基づき後藤委員長から報告があった。
 - ・ 研究委員会の延長申請については認められる可能性が高いが、正式には2/27正副会長会議で決定される予定である。延長が認められた場合直ちにアクションプランと予算の提出が求められるため、各部会で準備をしてもらいたい。
 - ・ 震災対策展は盛況であった。大坂、仙台でも参加する予定である。
 - ・ ワークショップ2014の役割分担（案）を決めたので、協力してもらいたい。仲村委員に本委員会の委員の参加を確認していただく。
 - ・ JAEEの事務局に当日の受付等を依頼してみる。

5.3 講演「津波避難に関する課題」（高知県中土佐町意見交換会報告）

佐藤部会長（資料 8-4）

- ・ 津波の想定は本当に最大級を考えるのか
→ 発生確率はともかくとして、最大級のものが公表されているため、行政は対応せざるをえないようである。
- ・ 観光客の誘導は計画されているか
→ 計画されていないようである
- ・ 避難のタワーについては、日頃から利用されていると、防災に対する啓蒙になると考えられる。
- ・ 津波避難だけでなく、家屋の耐震化、耐火化も合わせて考える必要がある。

5.4 都市避難部会報告

- ・ 資料 8-5 に基づき久田部会長から報告があった。
- ・ 4 月より久保委員に代わり早稲田大学の三上貴仁先生に参加していただく。
- ・ JAEE で首都直下対応の特別委員会の立ち上げが企画されており、本研究委員会と合同で活動することになるかもしれない。

5.5 国際交流部会報告

- ・ 資料 8-6 に基づき村上部会長から報告があった。
- ・ 3 月末を目途に海外の論文等の収集を行なっている。
- ・ メンバーが少ないため、増員をしたい。
- ・ 2016 世界地震工学会儀に、津波関連で特別テーマセッションを提案する予定である。
- ・ 海外の研究者にもハングアウトによる参加を呼びかけることを考えている。

5.6 シミュレーション部会報告

- ・ 荒木委員から、報告があった。
- ・ 石巻のシミュレーション結果のとりまとめをしており、ワークショップ 2014 で報告する予定である。

5.7 H25 年度予算資料

- ・ 資料 8-8 に基づき、山本幹事長から今後の予算の執行予定について説明があった。
- ・ 国際交流部会から旅費等の申請をしていただき、最終的に調整することとなった。

5.8 論文特集号計画

- ・ 資料 8-11 に基づき、柳原副委員長から説明があった。
- ・ 各部会から活動報告の概要を提出していただく。

- ・ 来年度は津波避難を中心に、翌年度には都市避難を中心とした 2 部編成とすることも考える。

5.9 その他

- ・ 次回委員会を 4/15（火）10：00 から工学院大学で開催する。

以上